様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その１）

警 察 署 協 議 会 会 議 録

八女警察署協議会

<table>
<tr><td>開催年月日時</td><td colspan="2">令和６年３月２２日　午後４時００分　から
令和６年３月２２日　午後５時３０分　まで</td></tr>
<tr><td>開　催　場　所</td><td colspan="2">八女警察署 大会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　　席　　者</td><td>警察署協議会</td><td>会長以下８名</td></tr>
<tr><td>警　　察　　署</td><td>署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、黒木警部交番所長、刑事課長、交通課長、警備課長、事務局</td></tr>
<tr><td colspan="3">議　事　概　要</td></tr>
</table>

１　会長挨拶（要旨）

年始には、石川県能登半島地震や羽田空港での飛行機事故、北九州での大火災が発生し、慌ただしい一年の始まりとなった。

八女署管内でも死亡事故、飲酒運転、飲酒運転事故、特殊詐欺被害等が発生しているとのことであり、我々としても警察の活動に協力していきたいと考えている。

先般、警察署協議会会長連絡会議に参加したところ、各警察署の取組等の報告を受け、様々な施策を講じてられていることが分かり、非常に参考となる会議であった。

本日も委員には、活発な意見・要望等をお願いする。

２　署長挨拶（要旨）

各委員には、平素から八女警察署の活動だけでなく、各種警察活動全般にわたり、深い理解や力強い協力、助言等をいただき感謝申し上げる。

県民の安全安心の確保のため、警察が様々な活動を行っていく上では、県民の立場に立った対応が肝要であると考えている。

各種事案への対応は、前向きかつ積極的に行い、また、目まぐるしく変化する社会情勢・治安課題に対応できるよう、柔軟な発想、多角的な視点を持ちながら各種警察

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要

活動を推進していきたいと考えている。

本日も忌憚のない意見等をいただき、それを署の運営に反映させつつ、署員一同、一致団結、連携しながら八女署管内の安全安心の確保に努めてまいりたい。

３　転入幹部挨拶

副署長、会計課長、刑事課長、黒木警部交番所長

４　報告事項

（１）　令和５年八女警察署治安概況の補足説明（総務課長）

（２）　交通死亡事故の発生について（交通課長）

（３）　警察署内係構成の変更等について（総務課長）

（４）　特殊詐欺の現状について（生活安全課長）

５　質疑応答

○　委員から「八女管内で死亡事故が発生し、非常に残念である。死亡事故ゼロ及び飲酒運転撲滅に向け、どのような取組を推進すべきか教えていただきたい。」旨の発言があり、署長から「市民の方々から様々な意見をいただき、死亡事故の反響の大きさを感じている。死亡事故の防止のため、しっかりと対策を講じていく所存である。しかし、警察のみの取組では限界があることから、委員をはじめ、関係機関、団体等から協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えている。」旨の回答があった。

○　委員から「信号機、道路標識及び道路表示がない交差点で事故が発生し、当事者同士が過失等について揉めたとの話を聞いた。標識等の設置要望はどこにすべきか教えていただきたい。」旨の質疑があり、署長から「警察に要望としてあげていただきたい。」旨の回答があった。

○　委員から「先日、広川町で行方不明事案が発生した際、警察との素早い情報共有、連携により、早期に発見することができ、非常によかった。」旨の発言があり、生活安全課長から「引き続き連携をお願いする。」旨の発言があった。

○　委員から「ニセ電話詐欺について、更なる啓発の必要性があると考えているが、被害防止のために取り得る対策があれば教えていただきたい。」旨の発言があり、生活安全課長から「被害額が高額なものとして、金融商品詐欺があげられる。対策

としては、金融商品の取扱いは、金融庁の登録が必要であることから、金融庁のホームページを確認し、登録の有無を確認する、ニセ電話防止の電話機を使用するなどの方法がある。」旨の回答があった。

○　委員から「広く注意喚起するためにも、特に交通課や生活安全課はキャンペーン等の頻度を増やすべきと感じている。また、活動計画を立てていただき、それを教えて欲しい。」旨の要望があり、署長から「キャンペーン等については、効果的なものとなるように配慮するとともに、計画を策定のうえ、情報共有を図っていくことから引き続き協力をお願いする。」旨の回答があった。

○　委員から「原付の運転が危ないと感じることがある。そのような人に対する講習は何かあるのか。」旨の質疑があり、交通課長から「高校に赴き、講習を実施しており、学校によっては講習を受講しないと原付が使用できないとしているところもある。」旨の回答があった。

6　講評

副会長から「本日も多くの意見に感謝申し上げる。八女警察署管内で未だ飲酒運転が発生している現状を踏まえ、引き続き各種活動に尽力していきたいと考えている。

また、ニセ電話詐欺被害、死亡事故等が発生していることから、警察には引き続き対策を講じていただきたい。」旨の講評があった。